

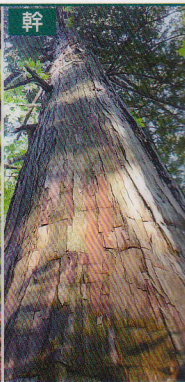
木曾五木図鑑

ヒノキ【檜】

Chamaecyparis obtusa

ヒノキ科 ヒノキ属

樹高は20~30m。木曾のヒノキは日本の木材の中で最も優秀なものの一つとされます。材は密で香りと光沢があり、とても堅く、腐朽にもよく耐えます。



サワラ【榎】

Chamaecyparis pisifera

ヒノキ科 ヒノキ属

樹高30~40m。日陰に強く、沢地などでも、幹を直立させ、よく育ちます。水気に強いので、家具や建具のほか、桶の材料になります。



ネズコ【鼠子】

Thuja standishii

ヒノキ科 ネズコ属

樹高20~30m。富山県の黒部溪谷に多いことから、「クロベ」という別名もあります。木材には独特の香りがあり、黒褐色の光沢があります。用途は建具や下駄など。



アスナロ【明日檜】

Thujopsis dolabrata

ヒノキ科 アスナロ属

別名ヒバ。樹高は30~40m。日陰にとても強く、よく生長します。木材は水に強く、船の材料などに使われます。名前の由来は「明日はヒノキになろう」という意味です。



コウヤマキ【高野榎】

Sciadopitys verticillata

コウヤマキ科 コウヤマキ属

樹高は30~40m。和歌山県の高野山によく見られるのが名前の由来。一属一種で、日本特産の樹木です。木材は水に強く、船や桶などに使われます。

